

事務事業名		市道神原企業団地1号線外道路整備事業(企業団地関連道路整備事業)		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	スマートIC整備G	課長名	小村 利之
	施策名	(37)商工業の振興		担当者名	佐藤 俊之	電話番号	0854-40-1064
	目的:対 象	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。		(内線)	2462
	基本事業名	(108)新たな雇用の場づくり		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	市道道路整備事業	
目的:対 象	雲南市への進出に意欲のある企業及び市内事業所	意図	市内で事業拠点を新設・増設し、雇用を拡大する。		0 1 4 0 0 3	中事業 中事業名	企業団地関連道路整備事業
					1 0 1 5 0 7	大事業 大事業名	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
新たな雇用機会を創出する企業誘致を行うため、神原企業団地整備を進めている。本事業は、開発行為区域内にある市道神原企業団地1号線【整備延長L=175m、W=9.75m】、市道神原企業団地2号線【整備延長L=221m、W=9.00m】の2路線を整備する。本事業は土地開発公社に委託して整備を行った。【期間 H29~R元】

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・雲南市土地開発公社との土地売買契約による取得(1号線 L=175m、2号線 L=221m) 面積4,405㎡ 【用地費、測量試験費、工事費等の整備費用を含め取得】	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) (仮称)加茂BSスマートIC整備事業で実施				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 整備延長	m			396	
	イ 供用延長(累計)	m			396	
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	市道及び市道利用者	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
			ア 整備計画延長	m			396	
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
			ア 整備率(供用延長)	%			100.0	
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	用地費	79,860千円	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
※合併特例債	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円			75,800	
			その他	千円				
			一般財源	千円			4,060	
	事業費計(A)	千円			79,860			
	人件費	正規職員従事人数	人				2	
	延べ業務時間	時間				1,000		
	人件費計(B)	千円				4,240		
	トータルコスト(A)+(B)	千円				84,100		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
山陰道の延伸により、沿線の工業団地開発が活発化している。完成した区画1.8haは今年2月に早速、分譲先が決定した。	設計時に線形や工法検討によるコスト縮減、施工時には残土搬出先や土砂運搬方法について、県と調整を行い、事業費の抑制に努めた。	神原企業団地の拡張に対する要望、期待がある。

事務事業名	市道神原企業団地1号線外道路整備事業(企業団地関連道路整備事業)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		交通量や受益状況から道路規定を決定しているため、向上の余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？			理由
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
神原企業団地の利便性向上のため、早期の完成を目指していく。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			